

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

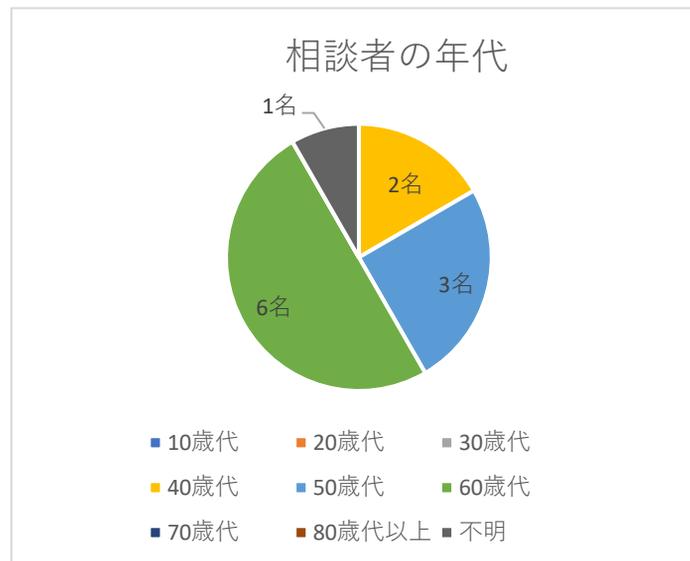
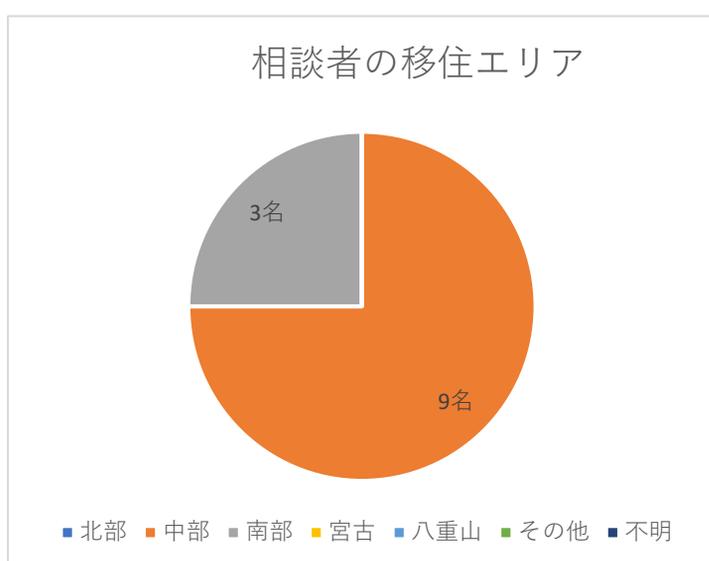
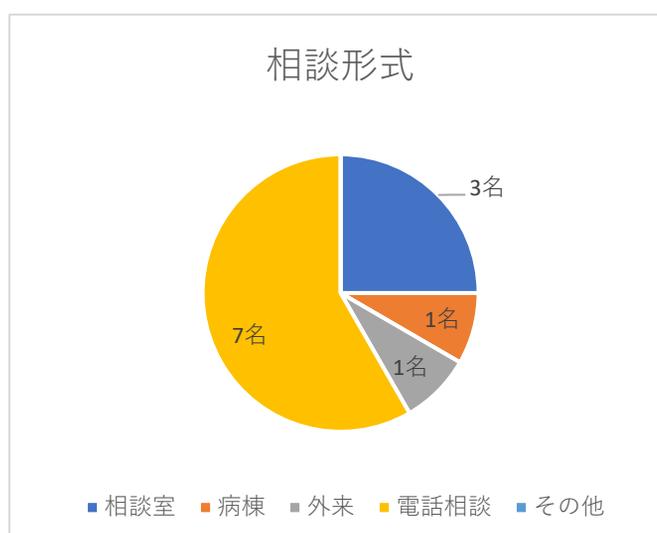
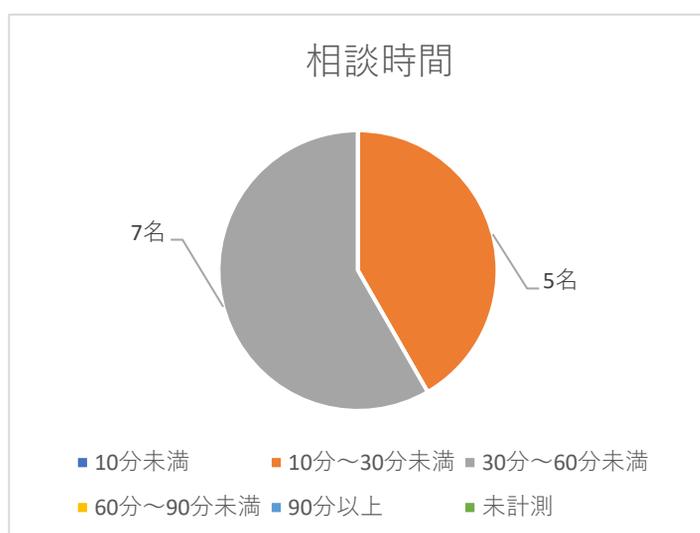
実施期間：令和5年4月3日～令和5年6月21日

沖縄県地域統括相談支援センター

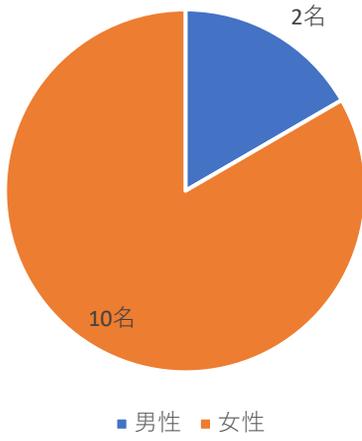
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

- 調査対象期間 令和5年4月3日～令和5年6月21日
- 調査件数 12件

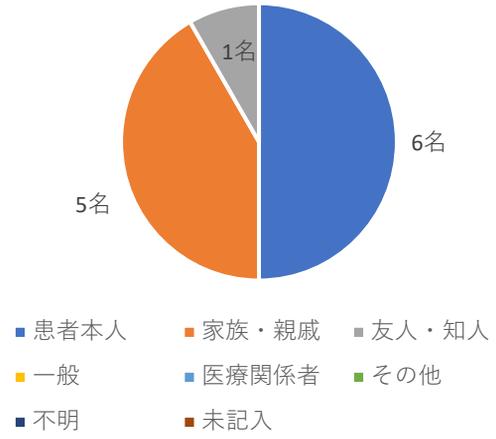
相談月	件数
4月	4
5月	7
6月	1
合計	12



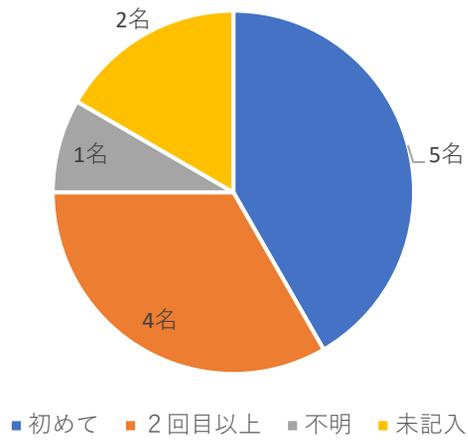
相談者の性別



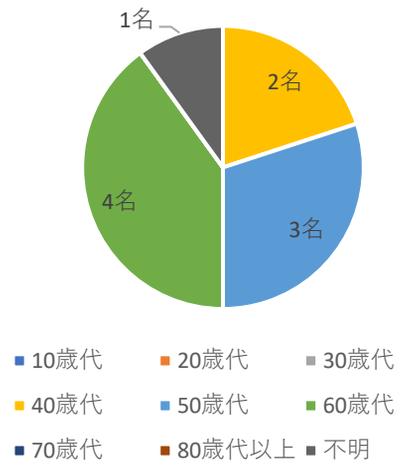
相談者のカテゴリー



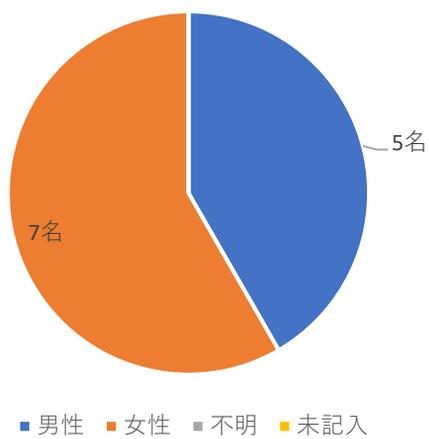
相談者の利用回数



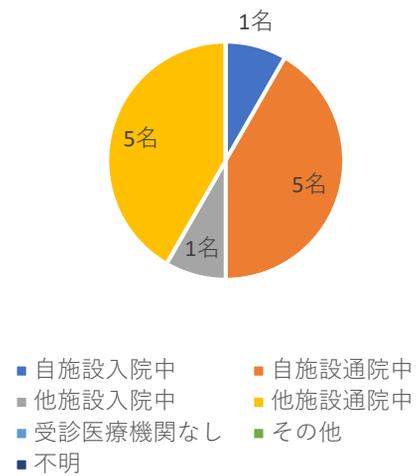
患者本人の年代



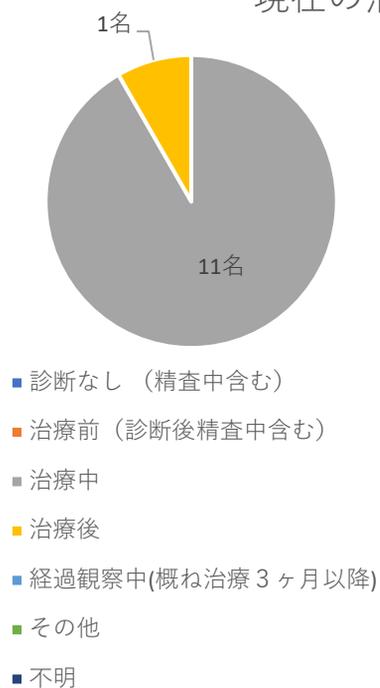
患者本人の性別



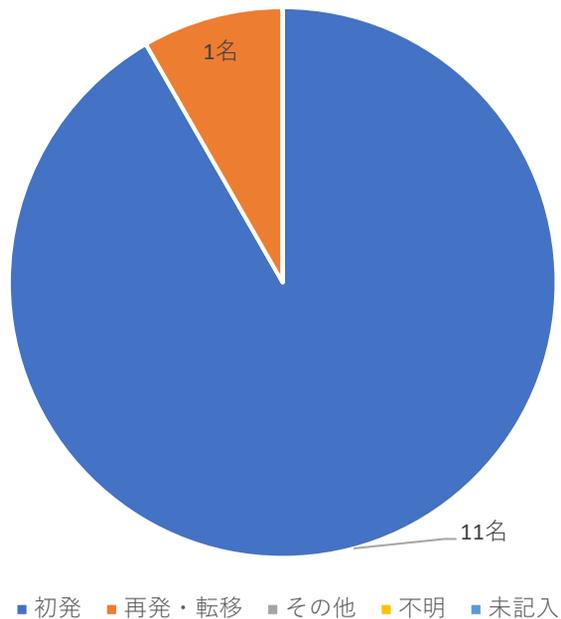
受診状況



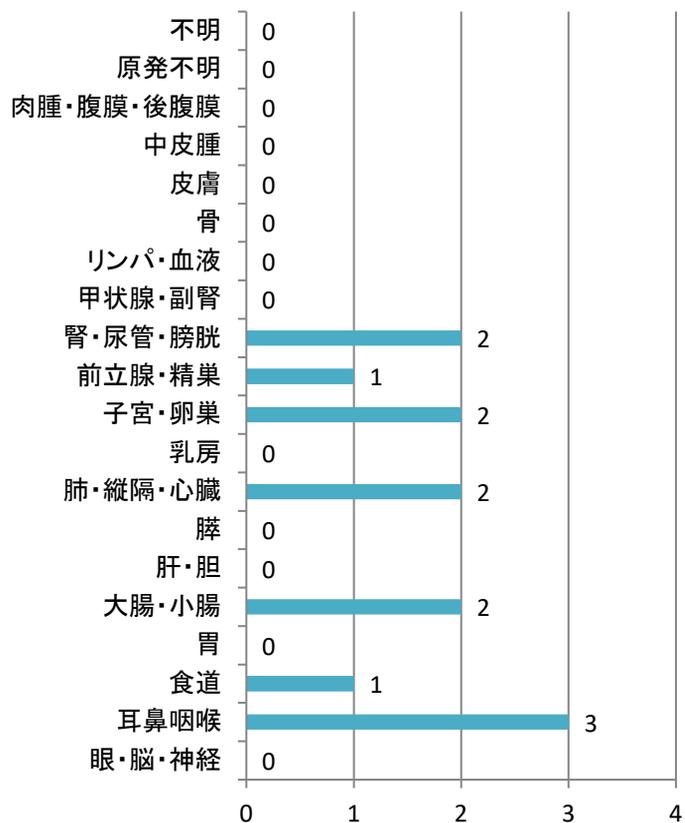
現在の治療状況



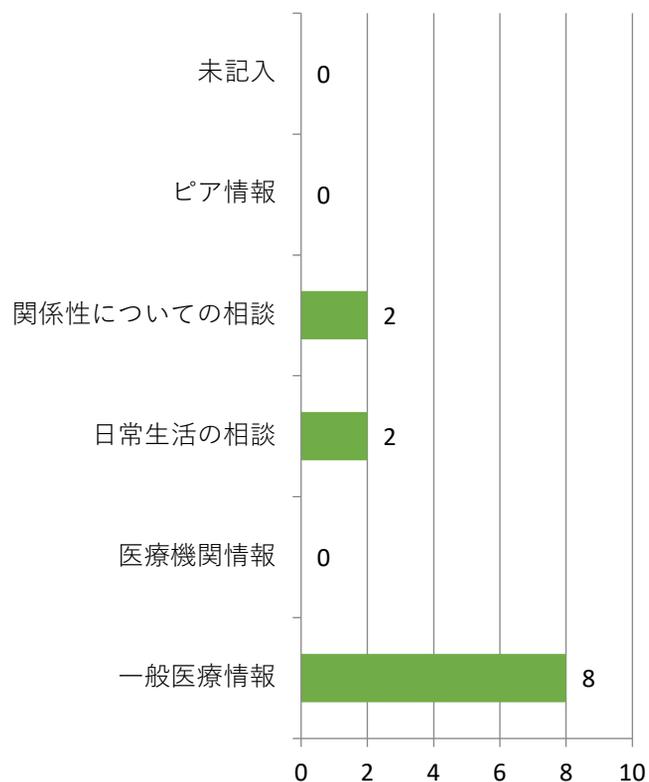
がんの状況



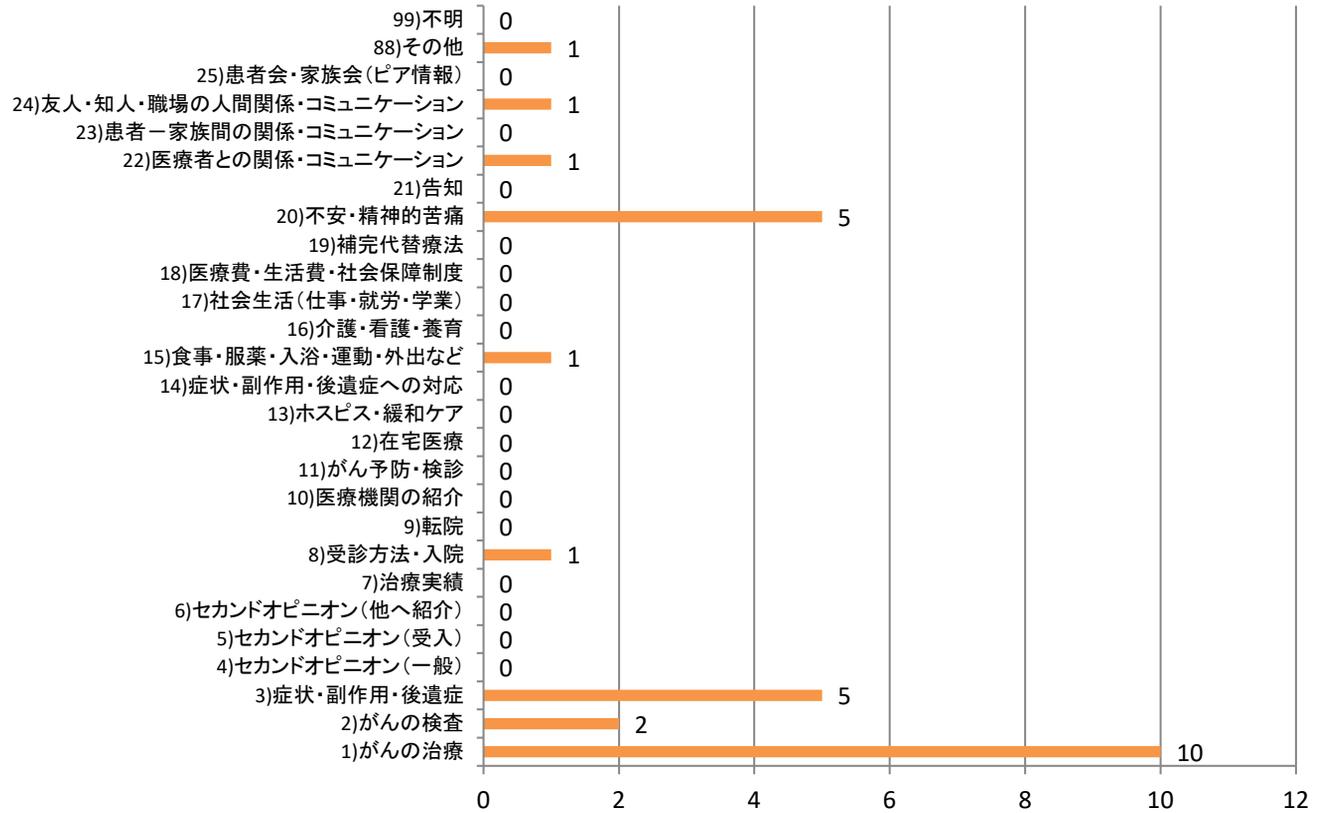
がんの部位



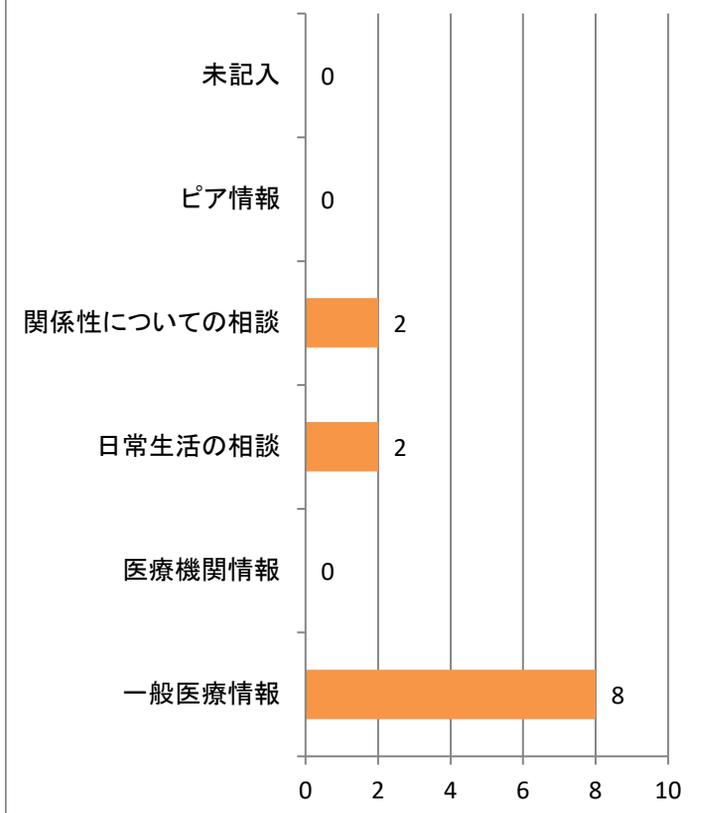
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



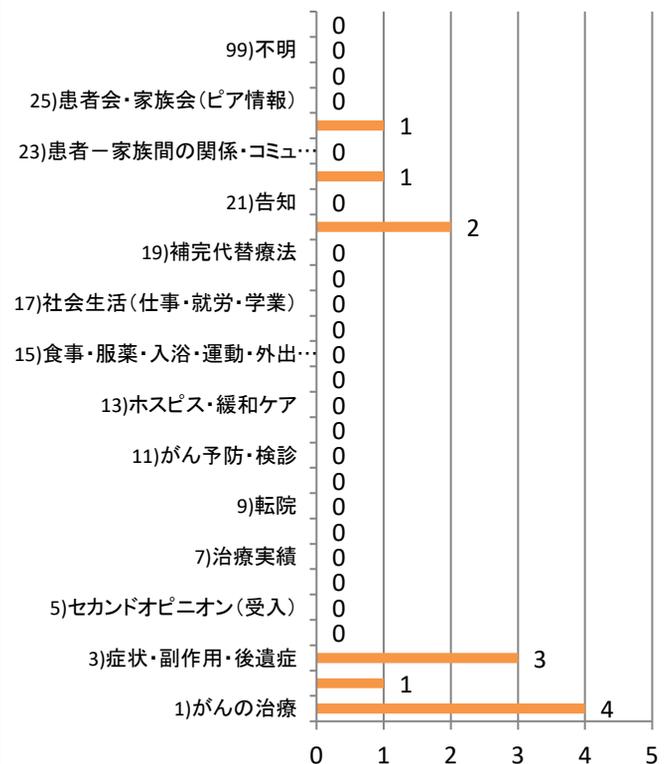
相談内容(実施したものすべて)



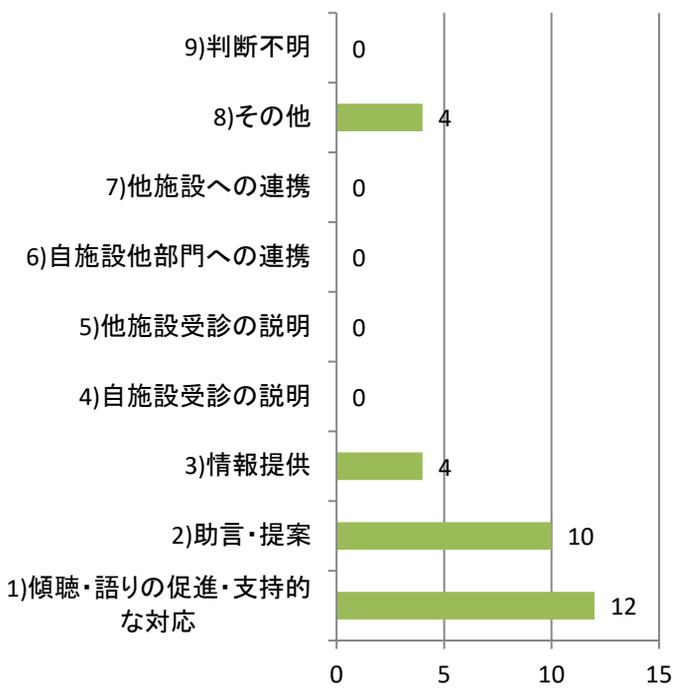
相談内容(最も比重の高いもの・大項目別)



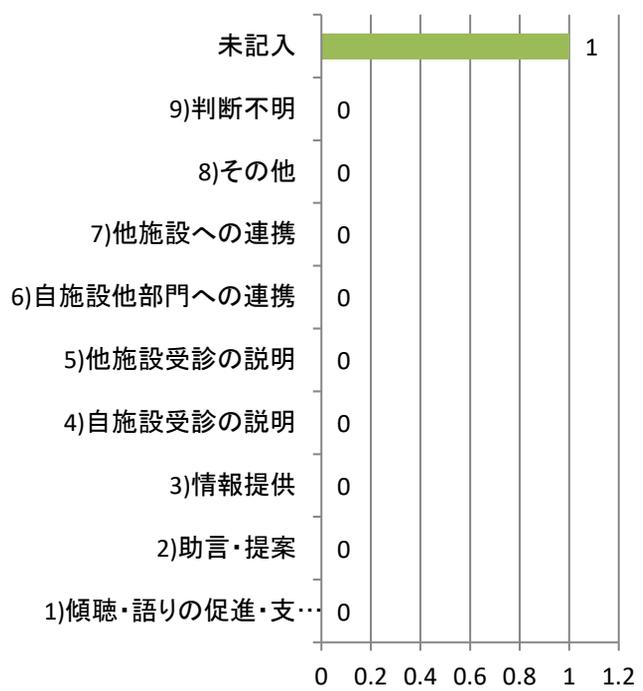
相談内容(最も比重の高いもの)



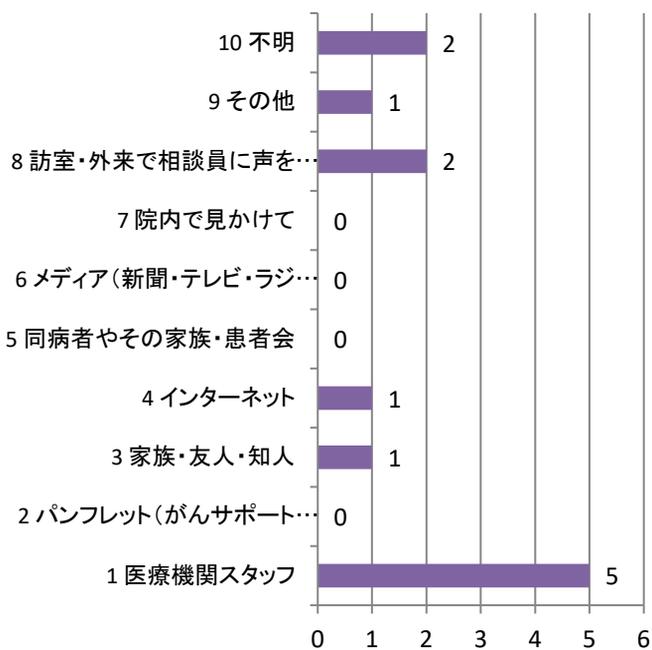
対応内容(実施したものすべて)



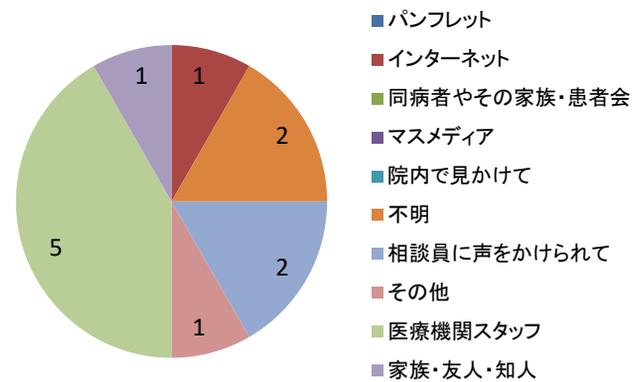
対応内容(最も比重の高いもの)



認知経路



認知経路



令和5年度 沖縄県委託事業

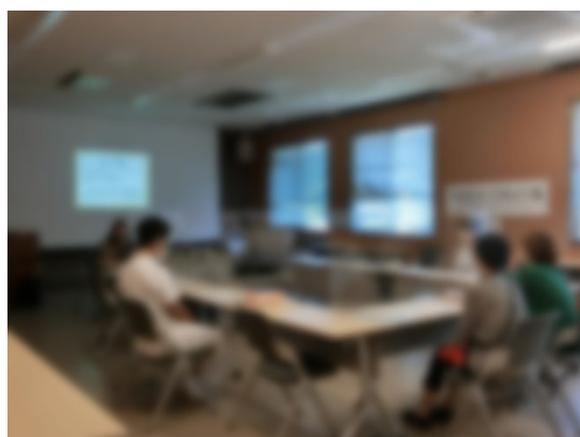
沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン
報告

令和5年度 がんピアサポーター派遣事業①

1. 名称 令和5年度 第2回 ゆんたく会
場所 琉球大学病院 大学院セミナー室
日時 令和5年5月2日（火）14:00～15:00
派遣者 がんピアサポーター（上地 久美子）
参加者 一般参加者 2名

院内スタッフ 6名（講師含む）

今回は上地サポーターによるがん体験談。上地サポーターと同じがん種の肺腺癌の治療中の方が参加。がん体験談後そのまま質疑応答とフリートークへ。体験談を聞きこのような活動している方がいると元気をもらい勇気が湧いたと話す。新聞の広告を見てゆんたく会があることを知り参加いただいた。今後もこのような活動を続け当センターの活動を周知したい。



2. 名称 令和5年度 第3回 ゆんたく会
場所 琉球大学病院 大学院セミナー室
日時 令和5年6月6日（火）14:00～16:00
派遣者 がんピアサポーター（上地 久美子、上間 和子）
参加者 一般参加者 3名

院内スタッフ 4名（講師含む）

琉球大学病院がん相談支援センターの友利より医療保障制度について毎年改訂されるがんサポートハンドブックを解説していただくようお話があった。生活面を支援する制度など経済面の心配や不安になりやすい項目を詳しく説明していた。フリートークでは、ピア・サポーター2名を主に各参加者の心配や不安なことについてお話しした。私もそうでしたとの声を聞いて安心している様子が伺えた。



3. 名 称 第136回 那覇がん患者ゆんたく会

場 所 那覇市立病院 3階講堂

日 時 令和5年5月18日(木) 14:00~15:05

派遣者 がんピアサポーター(西村 克敏、上間 和子、玉寄 育子)

参加者 一般参加者 5名

那覇市立病院 スタッフ4名(講師含む)

がん看護専門看護師と医療ソーシャルワーカーについての講演後、45分程フリートークを行った。自己紹介から始まり、がんと診断されてからの悩みなど1人ひとりお話をした。疑問や不安についてピア・サポーターの経験談や共感をし、ピア・サポーター2名もしっかりと傾聴することができたのではないかと。ピア・サポーターについても興味を持ってもらい、当センターの活動についても知ってもらうことができたのではないかと。



4. 名 称 第135回 中部地区ゆんたく会
場 所 中部病院 7階レストラン
日 時 令和5年4月27日(木) 16:00~17:30
派遣者 がんピアサポーター(中山 富美)
参加者 一般参加者 8名

中部病院 スタッフ 6名

1人ひとり自己紹介と近況報告。その後は自然と2つのグループに分かれてフリートーク。自身の今の状態やがん発症までの経緯を話し、お互いで励ましあう場面も。最後は1つのグループにまとまってゆんたく。ピアサポーターはどうだったかなど質問もあった。中部病院では2月よりつぶやきノート(交換ノート)などを始めたという。自身で吐き出したい想いや気持ちをノートに書き綴る。患者さんが患者さんのために始めたという。素晴らしいアイディアで地域統括でもHPを使ってそのような場所を提供したいと考える。



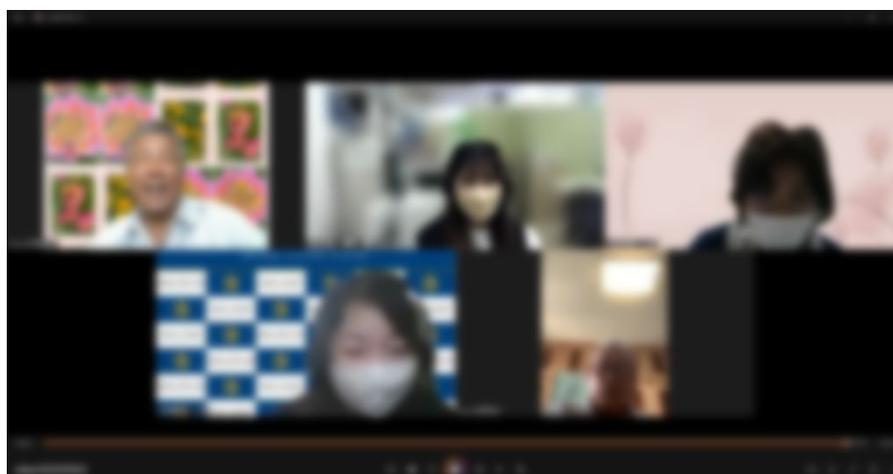
5. 名 称 第136回 中部地区ゆんたく会
場 所 中部病院 7階レストラン
日 時 令和5年5月25日(木) 16:00~17:15
派遣者 がんピアサポーター(中山 富美)
参加者 一般参加者 4名
中部病院 スタッフ 6名

初めて参加いただける方もいるので自己紹介と最近の出来事や楽しかったことを共有した。がんを患ってこれまでの当たり前に気づき周りに感謝していることなど、みなさん共通して朝を迎えられたことに感謝して日々過ごしていることが分かった。参加者やピアサポーター、会場のスタッフ含め今の笑える場がある環境への感謝を感じられたのではないか。今回は、普段より参加者も少なめではあったが、1人ひとり満遍なくお話が出来、ピア・サポーターも自分の経験談についてのお話などもでき良かったのではないだろうか。



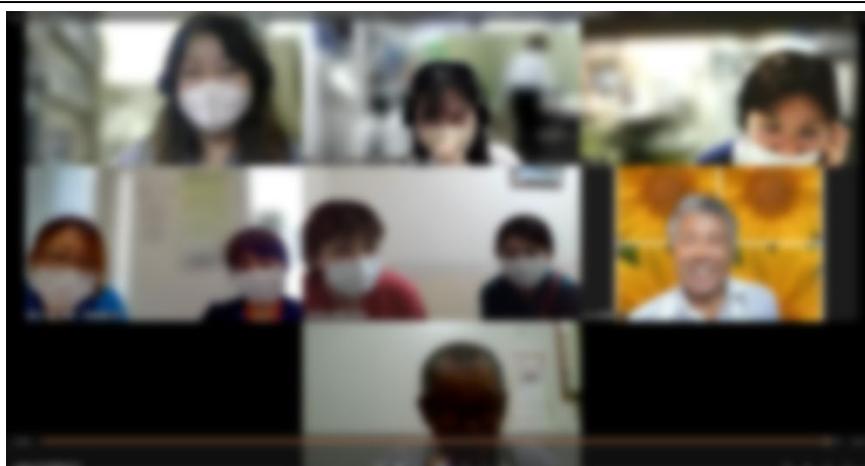
第1回 オンラインサロン報告書

名 称	第1回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和5年 4月 18日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・14:30より第1回オンラインゆんたく会を開催。 ・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図り、互いに自己紹介を終えフリートークに移る。 ・新年度ということで、新たに始めたことや変わったことなどないかピアサポーターより声掛けがある。 ・新たに山原に畑を始めていて、体調は悪い中で進めることは大変だが楽しみにしているとのこと。 ・もう1人の参加者も野菜を育てているとのこと、共通話題の畑や農業の話に花が咲く。 ・いつものお2人が参加とのこと、悩みなどのお話よりも普段のゆんたくを楽しんでいる様子。まだまだ不安が拭えないコロナ禍で、オンライン上で繋がり気軽にお話ができる月1回のオンラインサロン。何気ない会話がストレス発散になるのではないか。 ・今回参加者がZoomに入るのが時間がかかり、事務員にて電話で指示。パソコンで入れずスマートフォンから参加していただいた。恐らくパスワードにアルファベットが入っていて入室出来なかったのではないか。次回はID・パスワードを数字で入力できるように確認しておく。15:30に次回の案内し閉会となる。 <p>*参加者 (患者様2名・ピアサポーター1名、中部病院相談員1名、事務補佐員1名)</p>



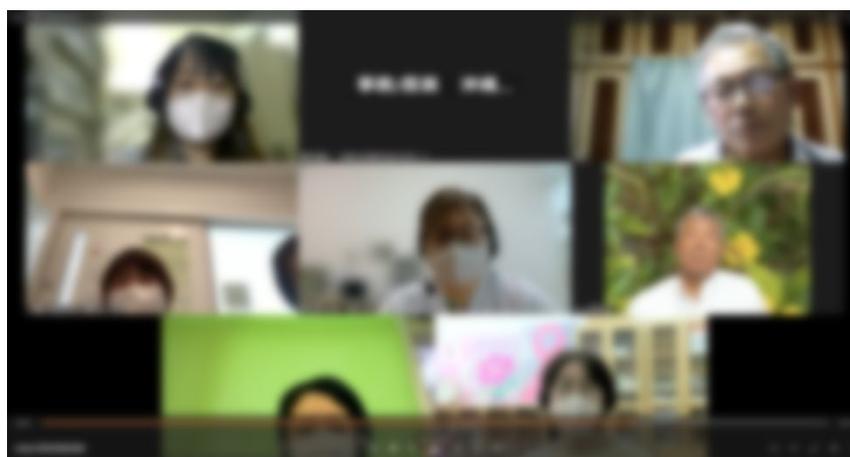
第2回 オンラインサロン報告書

名 称	第2回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和5年 5月 16日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 2名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・14:30より第2回オンラインゆんたく会を開催。</p> <p>・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図り、互いに自己紹介を終えフリートークに移る。</p> <p>・今回はゴールデンウィークでの過ごし方など1人ひとりお話をした。遠出をした方や家でゆっくりしたなどお話が聞けた。</p> <p>・患者さんより最近体調が悪くなり、がんの転移はないと主治医より言われたが、今になって不安になるなどお話があった。不安な気持ちを吐き出せる場所として、ピア・サポーター含め傾聴した。</p> <p>・みなさんの共通話題としてお花について盛り上がった。</p> <p>・</p> <p>・今回の参加者も前回に引き続きの参加となったが、月1回のゆんたくできるこのような機会を継続して提供していきたい。また、参加者を増やして盛り上がっていただけたいと思う。そのためには案内に力を入れたい。</p> <p>15:30に次回の案内し閉会となる。</p> <p>*参加者 (患者様2名・ピアサポーター2名、中部病院相談員1名・八重山病院相談員1名・北部地区医師会2名、事務補佐員1名)</p>



第3回 オンラインサロン報告書

名 称	第3回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和5年 6月 20日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 3名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・14:30より第3回オンラインゆんたく会を開催。 ・1人ひとり自己紹介を終え、オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図る。 ・フリートークでは治療の上で不安なことや、心配事を共有した。不安な気持ちを吐き出すとともに、不安な気持ちを軽減する趣味はないかなど、少しでも軽減するような方法を一緒にお話をする。 ・がんを告知された時は心配はなかったが、入院中は不安だった経験や、今は体力が持たなくて精神的につらいともお話をしていただいた。 ・ピアサポーターからも不安な気持ちが分かると寄り添いもあり、参加者も安堵するような場面もあった。 ・オンラインで自宅から参加でき、離れていてもインターネット上で会うことができZoomはいいなと感じる。みなさんに病気のことも話できて良かったとお話をいただいた。 <p>15:30に次回の案内し閉会となる。</p> <p>*参加者 (患者様2名・ピアサポーター3名、那覇市立病院相談員1名・八重山病院相談員2名・宮古病院1名、事務補佐員1名)</p>



令和5年度 沖縄県委託事業

がん ピア・サポーター フォローアップ研修会

開催報告

実施日：令和5年6月18日（日）

主催 沖縄県地域統括相談支援センター

【イベントの名称】

がん ピア・サポーター フォローアップ研修会

【目的】

がん ピア・サポーター（がんに罹患した経験を持つ相談員）の資質向上を図るため、効果的なピアサポートの活用法を学び、今後のピアサポートの活動へ役立てられるよう、基礎知識の再確認及びコミュニケーション技術の復習を目的に開催する。

【概要】

1. 日時 令和5年6月18日（日）
2. 場所 沖縄県医師会館 3階ホール
3. 対象 ピアサポーター養成講座修了生もしくはピアサポート活動者
4. 主催 沖縄県地域統括相談支援センター（令和5年度 沖縄県委託事業）
5. プログラム

講義動画・講義動画 確認テスト提供（研修会前に動画を視聴し研修会へ参加）

一般財団法人日本サイコオンコロジー学会 厚生労働省委託事業

がん総合相談に携わる者に対する研修事業

<研修会> 10:30～16:00

ストレスマネジメントについて

国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科長

先端医療開発センター精神腫瘍学 開発分野長 小川 朝生 先生

自分の体験を語る

NPO 法人 支えあう会「α」 副理事長 野田 真由美 様

ロールプレイ（5グループ編成）

<交流会> 16:00～17:00

柔軟体操 ヨガ講師 知念 真由美 様

サククス演奏 相談員 西村 克敏

フリートーク

第9回 がん ピア・サポーターフォローアップ研修会

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者	備考
10:00	10:30	30分	受付開始		
10:30			開会		
10:30	10:33	3分	開会のあいさつ	増田 昌人	
10:33	10:40	7分	講師およびスタッフ紹介	講師・相談員・スタッフ	
10:40	10:50	10分	受講生自己紹介	受講生各自	
10:50	11:10	20分	ストレスマネジメントについて	小川 朝生先生	
11:10	11:55	45分	自分の体験を語る	野田 真由美さん	受講生参加型
11:55	12:30	35分	お昼休憩		各自 *弁当持参をおすすめ
12:30	12:50	20分	オリエンテーション（ロールプレイ）	野田 真由美さん	
12:50	13:10	20分	ロールプレイ第1セッション		各グループにてロールプレイ （患者役・相談員役・観察者役） 患者役をやる時のみ 相談内容（シナリオ）当日配布 *シナリオ読み込む時間有り
13:10	13:30	20分	ロールプレイ第2セッション		
13:30	13:50	20分	ロールプレイ第3セッション		
13:50	14:00	10分	休憩		
14:00	14:20	20分	ロールプレイ第4セッション		
14:20	14:40	20分	ロールプレイ第5セッション		
14:40	15:00	20分	ロールプレイ第6セッション		
15:00	15:10	10分	グループ振り返り	各グループ	
15:10	15:30	20分	全体振り返りロールプレイの講評	野田 真由美さん	
15:30	15:35	5分	質疑応答	講師・相談員	
15:35	15:40	5分	アンケート記入	受講生各自	紙面記入
15:40	15:50	10分	受講修了書	増田 昌人	1人ひとり授与
15:50	15:55	5分	閉会のあいさつ	増田 昌人	
15:55	16:00	5分	記念撮影	全員	
16:00			閉会		第1部 研修会 終了
16:00	16:05	5分	開会の挨拶	仲田 ひろ子	○知念さん柔軟体操 ○西村さんサックス演奏 ○近況報告
16:05	16:55	50分	フリートーク		
16:55	17:00	5分	閉会のあいさつ	中山 富美	
17:00			閉会		第2部 交流会 終了

講師・アドバイザー・ファシリテーター・事務局 一覧

名前	所属	担当
小川 朝生先生	国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 科長・分野長	講師 アドバイザー
野田 真由美さん	NPO法人 支えあう会「α」 副理事長	アドバイザー
上原 弘美さん	友愛医療センター 地域医療部 がん相談看護師	ファシリテーター
仲田 ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	ファシリテーター
中山 富美	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	ファシリテーター
西村 克敏	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	ファシリテーター
上地 久美子	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	ファシリテーター
増田 昌人	琉球大学病院がんセンター長 (沖縄県地域統括相談支援センター 兼任)	責任者
喜瀬 杏妃	琉球大学病院がんセンター (沖縄県地域統括相談支援センター 事務)	補佐
伊佐 奈々	琉球大学病院がんセンター	補佐
伊佐 順子	琉球大学病院がんセンター	補佐
友利 晃子	琉球大学病院がんセンター	補佐
比嘉 優花	琉球大学病院がんセンター	補佐

受講生名簿

	氏名	立場	がんの部位	備考
1	女性	本人	乳	R4年度フォローアップ研修会修了生
2	女性	相談員	-	八重山病院 がん相談看護師
3	女性	本人	乳 腎臓	R元年度養成講座修了生
4	女性	本人	乳	R4年度ピンクリボンアドバイザー取得
5	女性	本人	乳 甲状腺	R4年度フォローアップ研修会修了生
6	女性	本人	乳	R4年度養成講座修了生
7	女性	遺族	胃	H25年度フォローアップ研修会修了生
8	女性	家族	小児白血病	R4年度養成講座修了生
9	女性	遺族	肺	R4年度養成講座修了生
10	女性	本人	乳	R4年度フォローアップ研修会修了生
11	女性	本人	乳	R4年度フォローアップ研修会修了生
12	女性	本人	子宮体	H28年度養成講座修了生
13	女性	本人	乳	R4年度フォローアップ研修会修了生

【申し込み者数：15名 / 当日参加：11名】

【振り返り】

- ・当日は、搬入会場設営に1時間しっかり取り受付も問題なく開会。
- ・1日通して時間にずれもなく、スムーズにプログラムが進み良かったのではないかな。
- ・自分の体験を語るでは、積極的に発表しコンパクトに自分の経験を語ることを学べた。1人1回は発表できたのは良かった。
- ・ロールプレイでは、受講生の状況を見てセッションをどこまでやるか決めることになってしたが、プログラム通り6セッションまで行えた。
- ・全体で2回ロールプレイをすることで、1回目は思うように上手くできなかつたところが2回目には1回目の学びを活かすことができているように感じた。
- ・各グループで慣れもでてきて、会場が一体となっていた様子が伺えた。
- ・

【反省点】

- ・お昼休憩が35分とタイトなスケジュールとなった点。受講生及び講師にとって十分に休憩する時間が取れなかつた。
- ・ロールプレイのはじめに、自己紹介の時間が上手く組み込めなかつたこと。ロールプレイを始める際に段取りをもう一度確認が必要。
- ・今何をすべきかアナウンスがあまり聞こえず、ファシリテーターが段取りに慣れるまでに時間がかかつた。
- ・ロールプレイ中に自分の話が長くなってしまう受講生に対して、研修会ですとまとめることができない場面もあつた。

【今後の課題】

- ・休憩時間は最低でも45分は必要。
(ロールプレイ打合せも午後開始時間の5分前には終了するように予定を組む)
- ・ロールプレイ時には、今やるべきことのスライドを作成し、スクリーン画面にて分かりやすく表示する。
- ・プログラムに傾聴の大切さを学ぶ講義をロールプレイ前に組み込むのはどうか。
- ・多くの養成講座修了生に参加していただくために周知とご案内を早めに行いたい。
- ・受付が10時からだと時間が短くなってしまうので、交流会を別日にしてはどうかとの声もあつた。会場とプログラム作成をもう一度考えておく必要がある。



▲研修会の様子



▲交流会の様子

令和5年度 沖縄県委託事業



第9回 がんピア・サポーター フォローアップ研修会

2023

6.18 (日)

10:30 ▶ 17:00

◎沖縄県医師会館 3Fホール

参加費無料 ※事前申し込み

対象：がんピア・サポーター養成講座 修了生

◆当センターが認めるものには旅費助成あり

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によってはオンラインへ切替となります

申込締切：2023/5/31

新型コロナウイルス 感染拡大防止対策

◆会場での食事は禁止されております。
近隣の食堂をご利用ください。

◆入室前の検温にご協力ください。

◆発熱（37.5℃以上）の症状のある方、
風邪症状のある方はご遠慮ください。

◆当日は、マスク着用での参加をお願いします。

お申し込みはQRコードまたはお電話・FAXにて

沖縄県地域統括相談支援センター
〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

TEL: (098) 942-3407
FAX: (098) 895-1497



【講師紹介】

小川朝生 先生

国立研究開発法人 国立がん研究センター
東病院 精神腫瘍科長
先端医療開発センター
精神腫瘍学開発分野長

野田真由美 氏

NPO法人 支えあう会「α」 副理事長

【プログラム】

◆第1部 研修会 10:30 ▶ 16:00

ストレスマネジメントについて 小川朝生 先生

自分の体験を語る 野田真由美 氏

(お昼休憩)

ロールプレイによる実践的トレーニング

◆第2部 交流会 16:00 ▶ 17:00

フリートーク

【会場】

沖縄県医師会館

〒901-1105 南風原町字新川218-9

Google Map▶



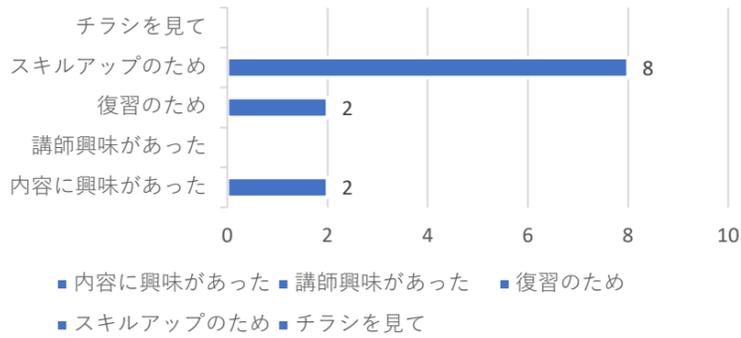
【問合せ】

沖縄県地域統括相談支援センター 担当/喜瀬

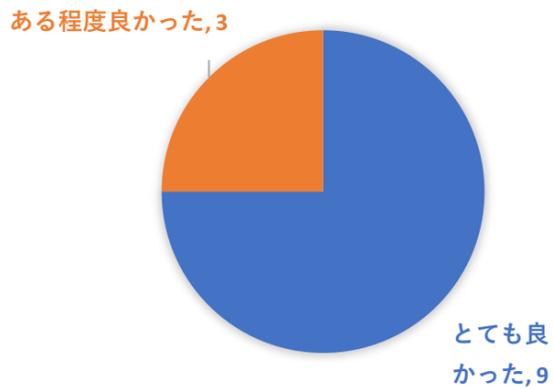
Tel: (098) 942-3407 (直通) FAX: (098) 895-1497

令和5年度 がん ピア・サポーターフォローアップ研修会 アンケート集計

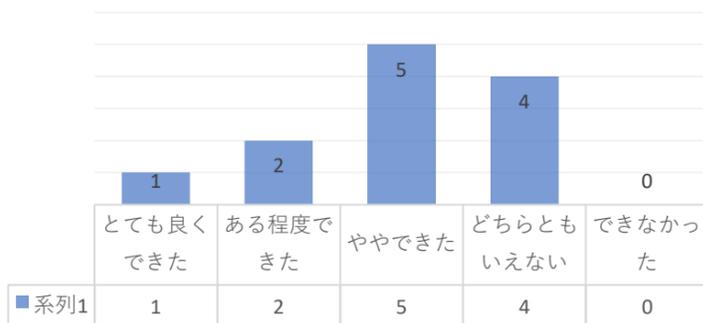
Q1.研修会に参加しようと思ったきっかけは何ですか？



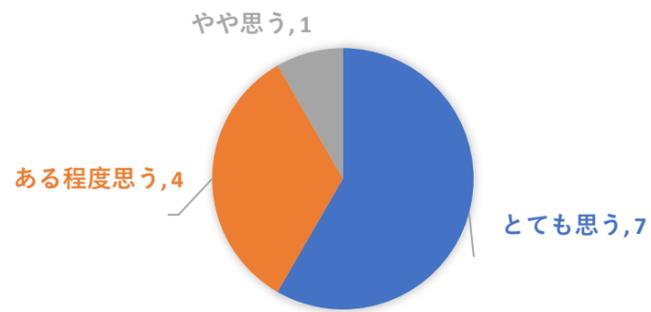
Q2.研修の内容はどうでしたか？



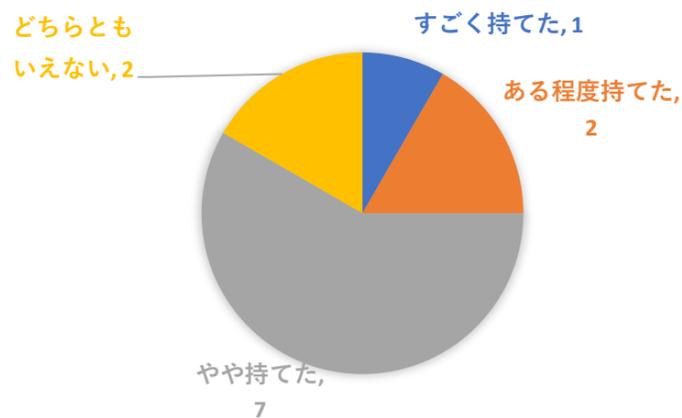
Q3.模擬相談演習（ロールプレイ）はどうでしたか？



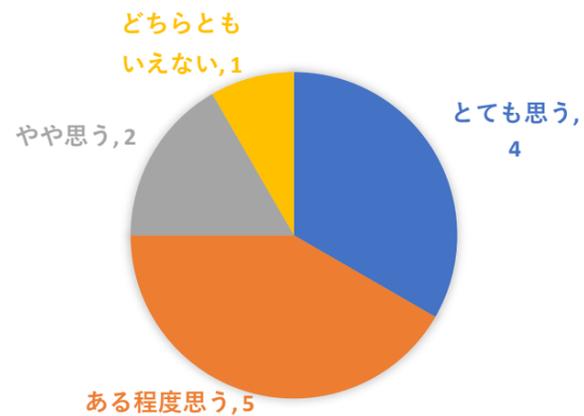
Q4.今回の研修はご自分のスキルアップになったと思いますか？



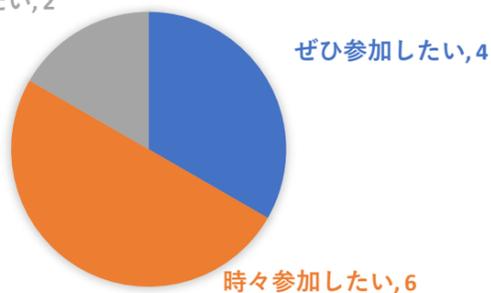
Q5.今回の研修でピア・サポート活動に自信が持てましたか？



Q6.今後もピア・サポーターとして活動したいと思いますか？



Q7.今後、沖縄県地域統括相談支援センターが主催する「がんサロン」等で、ピア・サポーターとして参加したいですか？



Q8.今後の研修会等で何を学びたいですか？

今回のようなロールプレイ研修をしたい。

様々な事例を、3者（利用者・サポーター・観察者）を行うことで気づきが多かった。

ピア・サポーターとして資質向上に繋がる内容。

ロールプレイをしたい。実際に相談内容の多い内容を取り入れて欲しい。

今日もありましたが、ストレスマネジメントは毎回でもやりたい。

苦手ですが…ロールプレイで数をこなしてスキルアップにつなげたい。学べる機会を増やしたいので。

コミュニケーションのとり方。傾聴の仕方など。

具体的なロールプレイの方法を教えてください。

ロールプレイに正解はないというが、それでもロールプレイの見本となるものが欲しいです。

がん患者の不安がみえた。「がんサロン」があちこちで再開されることを希望します。

（コロナ過で「がん患者」であった主人の行き場がないとみて気の毒であったから。）

Q9.ご意見、ご感想をお願いします。

小児の事例、家族・兄弟・子の事例をもっと知りたい。

先生方の講話の時間が短かったので、もっと長時間聞きたい。

久しぶりの研修でした。ピア・サポートで忘れかけていたことを勉強出来たと思います。

ロールプレイで役割分担しながら反省や学びを深められたのは良かった。初心に戻れました。

対面での研修は楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。

とても私の中で大きな学びになったのは、相談者の心配ごとからさらにどうなるのが不安なのか、引き出すことが大切だという気づきです。その奥の不安を引き出せる人になりたいです。

ロールプレイの中の野田さんのアドバイスがとても的確で今後の参考になることが多くありました。

（ステージ上での自分体験を語るは、できたらテーブルでお願いしたいです。）

初めての参加。予習せずに臨みましたが、研修の内容、ロールプレイ等、大変勉強になりました。

今後の活動に役立てていきたいと思います。ありがとうございました。

ロールプレイは本当に難しいです。

頭の中で話をしたいことと実際に話してみると、何か違うことを喋っているのではないかな？って心配になると言葉が詰まるのでとても難しいです。

大変勉強になった。1人ひとりの貴重な体験談をお聞きしたいと思います。

「がんサロン」で元気な患者をピックアップして他のサロンに時々移動可能かを聞くのもありかな？

実際にロールプレイセッションしてみて、立場の違いに応じた対応する難しさがありました。

たくさん意見を聞くことで、考え方の幅が広がりました。